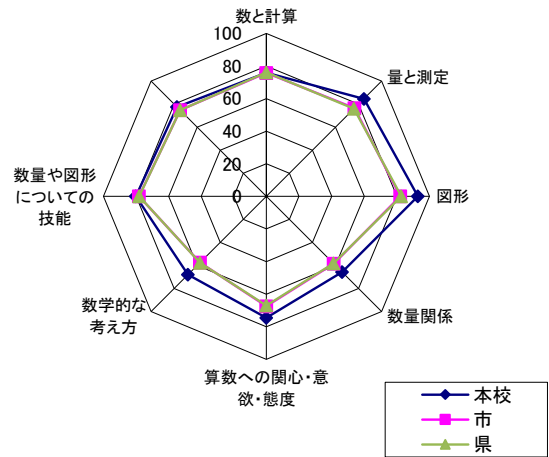


宇都宮市立瑞穂野北小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	75.9	75.8	76.1
	量と測定	84.7	76.5	76.0
	図形	92.9	82.1	82.7
	数量関係	65.7	58.4	58.2
観点	算数への関心・意欲・態度	74.5	67.4	67.0
	数学的な考え方	68.0	57.5	57.7
	数量や図形についての技能	80.1	78.2	78.1
	数量や図形についての知識・理解	77.6	74.8	74.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は市の平均とほぼ同じである。</p> <p>○わり算のあまりを切り上げて処理する問題の意味をよく理解し、商が1上がる理由を分かりやすく説明することができている。</p> <p>●数の大きさの概念や位取りの仕組み、基本的な計算の技能が十分身に付いていない。</p> <p>●計算の技能が身に付いている内容も、その計算の意味や仕組みを理解できていない。(かけ算の筆算など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 問題に取り掛かる際に、問題文の場面を図に表すなど、一人ひとりが問題を把握する時間を確保する。 折に触れて、数の仕組みや各計算方法の意味(どのような場面には何算が適切か)を指導する。 朝の学習の時間を活用して、既習の計算問題に取り組みませ、計算力を高める。
量と測定	<p>平均正答率は市の平均より高い。</p> <p>○「時刻や時間」、「道のりと距離」、「重さ」に関して、十分理解できている。目盛りを読んだり、それぞれの単位の量を大体の感覚で把握したりできている。</p> <p>●それぞれの単位の関係を理解し、単位を変換することに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な単位の関係(1分間=60秒など)に具体的にふれる機会を多く作る。 基本の単位(時、分、m、L、gなど)の前に付く「k(キロ)、c(センチ)、d(デシ)、m(ミリ)」などの意味を表などに整理して覚えやすいようにする。
図形	<p>平均正答率は市の平均より高い。</p> <p>○「円の性質」や「三角形の性質」に関して、十分理解できている。「半径」や「直径」などの言葉の定義や、三角形の作図の仕方が定着している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質と関連付けながら作図の仕方を考えられるように指導し、理解を深める。
数量関係	<p>平均正答率は市の平均より高い。</p> <p>○分からない数を□として式を立てることができている。</p> <p>●式が表している意味を読み取ることに課題が見られる。</p> <p>●理解できている内容に関しても、言葉や数を使って分かりやすく説明することは難しい様子が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各計算方法の意味(どのような場面には何算が適切か)やそれぞれの数字が何を表すかを言葉で表せるように指導する。 授業の中で、自分の考えやその理由・根拠を説明する機会を多く設ける。